

吾妻山砂防通信

第55号 発行日：H30年8月20日



堰堤と川底に段差がない工法で魚や人が行き来することができる自然に優しい砂防施設です。

不動沢第3砂防堰堤完成 地域の安全が向上します！

7/12開催

～完成披露会を実施し地域の方々と完成を祝いました～



土砂災害防止を目的として須川流域に建設を進めていた、不動沢第3砂防堰堤が福島市在庭塚字砥石山地内に完成しました。7/12(木)福島市主催で完成披露会を行い、地域住民、地元の庭塚小学校の生徒を招き、完成を祝いました。披露会では市長をはじめ関係者の挨拶、説明板の除幕が行われ、来賓のみなさんに完成した堰堤をご覧いただきました。

◆不動沢第3砂防堰堤◆

- ・着工年 平成23年6月(2011年)
- ・竣工年 平成30年7月(2018年)
- ・構造 鋼製透過型砂防堰堤
- ・堤高 14.5m ・堤長 72.0m
- ・堤体積 6,400m³ ・施設効果量 101,500m³



堰堤説明板除幕



出席者が堰堤まで行き見学

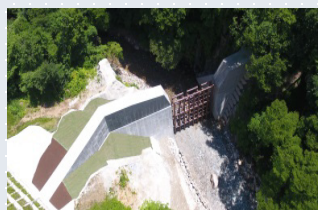
◆砂防堰堤の目的◆

吾妻山から流出した土砂が福島盆地の須川に堆積することによる出水の軽減と須川谷出口における土石流被害の軽減を目的に計画されました。不動沢第3砂防堰堤は、須川流域初の鋼製透過型砂防堰堤(通称：鋼製スリット堰堤)として土石流災害軽減の他、流木災害軽減の効果を持つ砂防堰堤として、本流域では第15番目の堰堤として完成しました。



作文披露

現地見学会を体験された庭塚小学校の生徒に、砂防や防災について学んだことや感じたことなど、作文を披露して頂きました。



上空から見た不動沢第3砂防堰堤

7/2開催

庭塚小学校 砂防堰堤現地見学会



不動沢第3砂防堰堤を庭塚小学校6年生の生徒15名が見学しました。鋼製スリット堰堤の働きの説明を受け、間近で堰堤を見ました。また、土石流模型実験により土砂災害の恐ろしさも学びました。



鋼製スリット堰堤

第11回あらかわ・ふるさとの川ウォーキング

6/3開催

清流日本一の荒川周辺を心と体の健康増進を図る目的のもと、汗ばむほどの晴天に恵まれウォーキングを楽しみました。コース途中では西信中学校の生徒のみなさんが荒川の歴史や自然の説明を行い、歴史的土木文化遺産を歩いて学んでいただけたと思います。吾妻山山系砂防出張所では土石流模型実験や「地蔵原堰堤物語」紙芝居、パネル展示を行いました。



「地蔵原堰堤物語」紙芝居に聴き入る西信中学生



荒川の歴史の説明をする西信中学生と参加者



地蔵原堰堤

8年連続水質日本一の荒川を間近で体感できた地蔵原堰堤



土石流模型実験の迫りに驚く参加者

教えて、さぼちゃん！ Part. 11 不動沢第3砂防堰堤のジャングルジムは何？



ちょっと豆知識

当出張所管内の**透過型砂防堰堤**には、鋼製スリットの他にコンクリートスリット・セル式コンクリートスリットの構造の堰堤があります。



このジャングルジムのようなものを、鋼製スリットといいます。
砂防堰堤には、**土砂をためる不透過型**と**普段は土砂を流す透過型**があり、不動沢第3砂防堰堤は、普段は土砂を流す透過型砂防堰堤の鋼製スリット構造です。



須川第2砂防堰堤 (コンクリートスリット)



荒川第13砂防堰堤 (セル式コンクリートスリット)

ふとうさわたい さぼうえんてい 不動沢第3砂防堰堤

ふとうかがたさぼうえんてい 不透過型砂防堰堤

土砂をためて溪流の勾配を緩やかにする働きや、土石流や流木をしっかりと受け止め一度に大量の土砂が下流に流れるのを防ぎます。



天戸川第1砂防堰堤

とうかがたさぼうえんてい 透過型砂防堰堤

普段は、土砂を流しますが土石流として流れてきた大きな石や流木はここでとらえます。川の流れをせき止めないので水に住む生き物の生態系に配慮されています。



塩の川第6砂防堰堤

透過型砂防堰堤が土石流をとらえる働き



①川(溪流)ではいつも、水と一緒に土砂も流れています。



②透過型砂防堰堤を設けた場合でも、普段は、水と土砂は同じように下流に流れていきます。



③大雨が降り土石流が発生したとき、大きな岩、流木などを含む土砂は、堰堤に引っかかり止まります。



④堰堤にたまった岩、土砂や流木は、次の土石流に備えて取り除きます。

砂防堰堤にいろいろなかたちがあるのは、土石流などで流れてくる石や木の量・大きさ、また工事の施工性や経済性を考慮して、その場にあった砂防堰堤をつくっているからなんじゃよ！



土石流とは



梅雨の時期や、台風が来たときなどに、雨が一度にたくさん降ると、山の一部や河岸が崩れてしまうことがあります。その崩れた土や石や、倒れてしまった木、川の底にたまっている砂などが水と一緒に、一気に流れてくることを土石流といいます。土石流が一気に平地に出てくると、河川が埋まり洪水が発生したり、集落や農地などが土砂に埋まり大きな災害となります。

【吾妻山山系砂防出張所が管理している流域別砂防施設】

出張所管内では、現在68の砂防施設(完成施設)があります。そのうち『鋼製スリット』の構造をしているのは、不動沢第3砂防堰堤(須川)、塩の川第6砂防堰堤(荒川)です。

流域名	砂防施設(※完成施設) (H30.7月現在)				合計
	堰堤	流路工	遊砂地	床固工	
松川	16	1	1	1	19
荒川	32	1	1		34
須川	15				15
合計	63	2	2	1	68

☆出張所の出来事☆

★7月4日(水) 夏休み前、水辺施設の安全利用点検を実施
多くの方々に利用されている河川やダムの水辺を安全で楽しく過ごして頂くように関係行政機関や地元の観光担当者と同会で点検しました。



「ご意見、ご感想、砂防に関すること」はこちら

◆福島河川国道事務所HP (<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>) も是非ご覧下さい◆

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)

〒960-2156

福島県福島市荒井字地藏原甲2-14

TEL:024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)

〒960-2261

福島県福島市町庭坂字遠原三3-4

TEL:024-591-1207

